

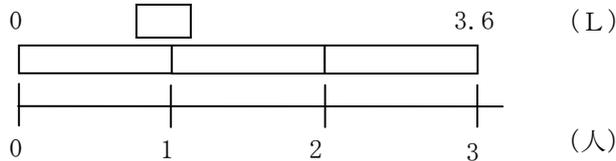
【ねらい】 小数÷整数の計算の意味を理解し、その計算の仕方を考えることができる。

課題

ジュースが3.6Lあります。このジュースを3人で等分すると、1人分は、何Lになりますか。

3.6Lを3人で「等分する」ので、わり算の式になりそうですね。

3.6÷3の計算の仕方を考えましょう。



既習事項の想起

①LとdLに分ける方法では、計算できるかな。

②3.6は、0.1の36こ分だから、36÷3で計算できるね。

③整数のわり算みたいに、筆算は使えないかな。

④3.6Lは36dLだから、36÷3で計算できるぞ。

自力解決

①【LとdL】  
3.6Lを、3Lと6dLに分けて考える。  
1L 1L 1L と  
1dL 1dL 1dL  
1dL 1dL 1dL  
3L÷3人=1L  
6dL÷3人=2dL  
2dL=0.2Lなので  
答えは1.2Lです。

②【0.1を基に】  
3.6Lは、0.1Lが36こ分なので、  
36÷3=12  
1人分は、0.1Lが12こ分なので、1.2L。  
答えは1.2Lです。

③【筆算で】  
3.6を36として、  
$$\begin{array}{r} 12 \\ 3 \overline{) 36} \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$
  
本当は、小数なので…  
答えは1.2Lです。

④【dLで】  
3.6Lは、36dLと同じかさなので、  
36÷3=12  
になります。  
商は12dLなので、  
答えは1.2Lです。



1 それぞれの考え方を確認する。



なるほど、こういう考え方もあるんだ。

集団思考

2 それぞれの考え方を比べ、まとめる。

②と③、④の考え方に共通していることはどんなことでしょうか。



小数の3.6を整数の36になおして計算しています。

①の考えで、0.6Lを6dLとするのも、整数にして計算するためですね。  
3.6÷3の計算は、3.6を10倍して36にすると、計算ができ、その商を1/10にすると答えを求めることができます。



$$3.6 \div 3 = 1.2$$

↓ 10倍 (単位を変える・0.1を基にする)    ↑ 10で割る (単位をもどす)

$$36 \div 3 = 12$$

指導上の留意点

● 児童から考えが出にくい場合は、教師側が考え方を想定しておき、提示するようにしましょう。

● 筆算の考え方については、小数点の扱いが式に表れていない場合も、考え方の一つとして取り上げ、全体での話合いの場面につなげましょう。

● 考え方については、机間指導で全体の考えの傾向を把握しておき、代表児童に発表させましょう。

● 考え方を比較させる際には、比較の観点を絞って発問します。

● ここでは、小数を整数としてとらえ、計算している点に着目させます。

● なぜ整数としてとらえて計算できるのかを、図式して説明しましょう。

- 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)